「会員卓話」

永井　勝康　会員

第971回　広島サンプラザ　2018年２月26日

会長時間

会長　松野　正信

卓　話

「パラオ共和国での支援活動について」

広島中央ロータリークラブ　国際奉仕委員長
NPO法人日本パラオ協会　プロジェクトマネージャー
広島国際大学医療栄養学部　教授
尾形　聡　様
（広島中央ロータリークラブ会員）

パラオは日本の南に位置し、大小250以上の島々からなる人口２万人の小さな美しい海洋国家です。1914年から終戦まで日本が統治し産業開発・教育などの面で多大な功績があり、日本人の親族をもつ人も多いことから大変な親日国です。パラオは世界10傑に入る肥満大国でもあり、糖尿病を中心とした生活習慣病を高率に発症し、心血管系の病気を合併して早死にするため平均寿命は約61歳（男性57歳）です。われわれはまずJICA（日本国際協力機構）と協力し2005年から３年かけて学校検診を立ち上げる事業を実施しました。しかし健診で異常を示す子供が見つかっても治療をできる施設や薬剤が不足しており、早期発見・早期治療よりも、生活習慣病の一次予防の方が重要であることを認識しました。当時の学校給食はハンバーガーやホットドックでしたが、そこに野菜食を取り入れ、栄養教育を開始させる事業をパラオ教育省、JICA、ロータリークラブパラオ、在パラオ日本大使館などと協力し現在行っております。海外での支援は日本で教育を受けた人は誰でもできることだと思いますが、根気・時間・資金が必要です。ロータリークラブ財団が行っているグローバル補助金にも申請しましたが、予防よりも患者治療の方が優先であり、１年以内に完成することなど暗黙のルールがあり昨年落選しました。海外支援を自前で実施するには相当な覚悟が必要ですので、世界で様々な活動を行っている団体などに資金提供する形で、たまにご家族を同伴して現地視察を行うというのが手始めには良いのではないかと思います。一度しかない人生を皆さんは何に使われるでしょうか？

活動報告

第５回カラオケ同好会
2018年1月22日
ジュエット

インフォーマル・ミーティング
2018年2月16日
リーガロイヤルホテル広島 33 階
レストランシャンボール

Rotary
THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA HATSUKAICHI
広島廿日市ロータリークラブ 会報
2018年 1・2月号 No.412

◇◇◇ 本年度会長方針 ◇◇◇

「将来(これから)について語り合い、変化に対応しよう!」

例会日／毎週月曜日 12:30 ～ 13:30
例会場／広島サンプラザ　TEL (082) 278-5000
会　長／松野　正信　　幹事／上杉　昌幸

事務局
〒738-0015 広島県廿日市市本町５番１号
廿日市市商工保健会館 4F
TEL（0829）31-5490　FAX（0829）31-5491
E-mail ／ office20@h-hrc.com
URL ／ http://www.h-hrc.com/

第966回　八雲　流川店　2018年１月11日

新年夜間例会

「廿日市ロータリークラブ会員の皆様へ」

2009－2010学年度ロータリー米山奨学生
崔　明福　様

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

時が立つのも早いもので、私が広島大学国際交流グループで勤務し始めてからもう２年になります。その間、主に国際交流や留学生の受け入れなどの業務を担当しており、これまで約400人前後の留学生の受け入れ業務を遂行しました。

現在は仕事にも楽しさを覚え、「広島大学日本語・日本文化特別研修」プログラムにおいては、しっかりと責任ある仕事を全うし役割を果たしております。とは言え、もし、学生時代に、廿日市ロータリクラブからのご支援がなかったら、いまの私もいないと思います。いつも廿日市ロータリクラブには感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年末には、廿日市ロータリークラブクリスマス家族夜間例会に参加することもできました。そして、会員の皆様からはいつも私を気にかけ暖かな声をかけてくださり、まるで家族のような接し方をしていただいております。いつの日か、私もロータリーアンになり、会員の皆様から奉仕の理念を継げることができたらと思っております。それを目標に、今後も少しずつ力を付けていきたいと思っておりますので、引き続き、ご指導のほどどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、廿日市ロータリークラブ会員の皆様とご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

第967回　広島サンプラザ　2018年１月22日

会長時間

理事会報告

副会長　松本　　猛

誕生祝

卓　話

「ふるさと」

篠笛奏者　**折尾　節文**　様

第968回　広島サンプラザ　2018年１月29日

会長時間

会長　松野　正信

今月は職業奉仕月間です。

職業奉仕という言葉は辞書に載っていないし、ロータリーに入会して初めて聞く言葉だと思います。

職業奉仕はロータリーの根幹的な目的と言われています。ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあるとさえ言われています。

職業奉仕の実践をシンプルに言うと「世の為、人の為にする奉仕の心をもって、自分の職業を営むこと」になります。

具体的に解りやすくした判断基準に「４つのテスト」があります。

その由来は1932年シカゴＲＣのハーバート・テ

イラーが倒産寸前の会社を立て直す事になり、まずは社員全員の意識改革に着手しました。
　誰でもいつでも応用できる標語を考え社員一丸となり、見事に再建し超一流企業までに成長させました。
　後にハーバート・テイラーはＲＩ会長になった時、「４つのテスト」の版権をＲＩに譲渡し、全世界のロータリアンがこれによって奉仕活動をやって行くように、提唱し現在に至っています。
　我々ロータリアンは四六時中、先人の残した「４つのテスト」を念頭に置いて行動しましょう。

奨学金授与

卓　話

「事業継承の前と後」

二村　一弘　会員

会社紹介
　弊社は昭和46年６月に創業し、今年で48年目を迎えます。創業当初は小さなプレハブの整備工場で社長である私の父親と母親でスタートしました。その後紆余曲折はありましたが、現在ではパートさん･アルバイトさん含め社員総数が108名になりました。
　現在では、安佐南区・安佐北区・佐伯区で、中古車店を２店舗、マツダ･スズキ･ダイハツ・ジープの各新車ショールームを５店舗、鈑金塗装２店舗、全て整備工場の併設で９店舗展開しております。
　当社の特徴は、普通のディーラーと違い、軽自動車からトラックまで幅広く扱っています。発祥が整備工場ですので、整備に強い会社でもあります。販売から板金塗装までほぼ全て自社で行います。お客様のお困りごとは全て対応します。
自己紹介
　昭和45年生まれの47歳です。３人兄弟の長男として特に不自由もなく現在に至ります。学校を卒業して、金融機関に就職し、４年間しっかり揉まれました。その後、アメリカ車のジープの販売を立ち上げるということで、平成９年に広島に戻ってきました。
　会社に入って21年になります。
事業継承の前と後
　３年前の５月に事業継承を行いました。
　事業継承の準備期間は、約７年間です。
　もともと次期の社長として入社してきたというよりも、いつかは社長になる、そのために今我武者羅に仕事や勉強をやらないといけないという強迫観念にも似た感じで入社後約10年間を過ごしました。
　その後、段々と経営に関することを任されて来ました。
　一番最初に任されたのは、金融機関の対応です。当社はもともと自己資本比率１桁というとても財務体質が弱い会社でした。そのため借入金も当時で約10億円ありました。もちろん金利も莫大払っており、それを一つ一つの借り入れを折衝して、金利や期間を変更して行きました。
　あるとき、資金繰りというものをあまり理解していないまま、ジープの新車を15台在庫で購入したところ、資金繰りに詰まってしまいました。親会社に資金を提供してもらい、何とかなりましたが、これが私がお金に対する思いで、今の貸借対照表に生かされていると思います。
　７年前にある知り合いの業者から、自社株式の譲渡の話がありました。
　今であれば、自社株の評価がゼロだから、息子である私に譲渡した方が良いと言う内容です。これを当時の父親である社長に話したら、会社を乗っ取るつもりかと激怒されたのを覚えています。
　今振り返れば、そのときは私自身の信用がまだまだだったのだと思います。
　その後は、店舗運営を任され、採用を任され、人財育成を任され、一つずつ任されていき、代表交代の３年ぐらい前からはほぼ社長と同じような仕事をしていました。
　そのときから、父親が創業して45年間育てた会社を引き継ごうとしているので、それに変わるものは私がこの会社を成長発展させることが第一ですが、それ以外にも退職金と株式譲渡を最大限出来ることを念頭に経営しました。
　おかげさまで代表交代のときは、税務上問題ない最大の退職金を出せ、株式も譲渡でなく私自身が買取しました。
　株式の買取で一番良かったのが、税金が20％しかかからず、手元に資金が残せるからです。
　代表交代してから、２年間は今までと変わらずにやって下さいとお願いしました。
　会議も社員さんとの対応も、対外的にも今まで通りでやってもらうつもりでした。
　しかし、一年経つか経たないかぐらいから、一つずつやめていくようになり、現在では、会社の仕事は一部だけ、会社に出てくるのも月数日だけになりました。
　どういう心境かはあまり話してくれませんが、大事に育てた会社をこうやって任せれる会長はあらためて凄いし、この引き際がとてもすばらしいと思います。
　これからもしっかり会社を成長発展させ、次の代、またその次の代に引継ぎ、100年企業になれるようにしっかりやって行きたいと思います。

卓　話

「私の事業承継（一般的に言えば半分失敗の部類でしょう）」

川口　哲司　会員

　60才を過ぎた頃より取引先、金融機関、社員から後継者はどうなりますかと言う声が聞こえる様になりました。一人息子がいるが理系に在学中なので一応は継いでくれると思っていると話していました。

　62才の時会社を廿日市に移し３年後に例のリーマンショックを体験しましたが、この年に息子は卒業で１度は他社経験も必要なので本人の希望通りの某社に入社しました。リーマンショックの悲惨な経験も３年で元に戻り、息子に後継の話を出しましたが（考えておく）で２年位待ちましたが､気が進まない、今の会社にいるとの話になり、次はM＆Aなので金融機関に相談して他業種の一社と80％位まで話は進みましたが、その間にM＆Aの成功例失敗例を聞いている内に不況時に本業の方を守るのが圧倒的だとの話を聞き、不安になりました。
　M＆Aを一時ストップして取引先にも面識のある社員に任せてはと思い中堅で出来る２人に話をしました。半年位話をして２人の了解を得て社員取引先金融機関にも話をして2015年８月に社長専務２名と私で新しい組織で今日に至っています。
　問題もあります。代表権と株の件です。共に連結しており株価譲渡資金、タイミング等親子での引き継ぎよりも色々と困難もあります。私の場合はこの件の解決は今からです。

第969回　広島サンプラザ　2018年２月５日

会長時間

会長　松野　正信

　今月23日はロータリーの創立記念日です。
　113年前ロータリー創始者のポールハリスを含め４人が初会合をもった日です。23日から１週間を世界理解と平和週間とされております。そして今月は平和と紛争予防・紛争解決月間となります。
　今日世界中でテロや紛争は頻繁に発生しています。紛争で家を追われた難民は6000万人その半数が18歳未満と言われています。ロータリアンとして直視しなければならない数字だと思います。
　広島から核開発をしている北朝鮮の平壌と東京までの直線距離が780kmと同じ位置にある事実。日本も決して対岸の火事では済まされないと認識する必要があります。
　紛争は無関心からはじまり無理解、差別から迫害と増幅していきます。
　紛争解決は高いハードルではありますが、ロータリーが定める６つの重点分野の最重要課題なので地道に継続しなければなりません。
　今週金曜日から平和の祭典オリンピックがはじまります。スポーツを通じて平和を考えていきたいと思います。
　また本日は岡本先生による音楽を通じて平和を考える良い機会を頂きました。よろしくお願いします。

誕生祝

卓　話

「地域における平和と音楽活動の広がりに向けて」

音楽監督・指導者　松本　憲治　様

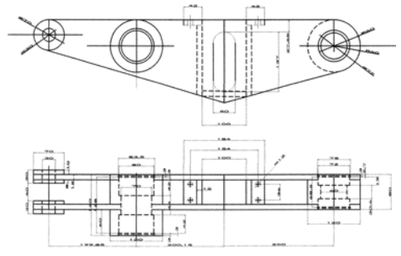
第970回　広島サンプラザ　2018年２月19日

会長時間

会長　松野　正信

卓　話

「機械設計」

佐伯　敬男　会員

　皆さん今日は。今回は機械設計について、私なりの考え方を話してみたいと思います。もちろん一口に機械といっても大小さまざまですが、高機能が入った大型機は専門のメーカーが製作していますのでそちらのほうは考えてはおりませんが中型機、最近では小型機械も作られていますので私の出る幕はないのですが、それでも企業の中では機械を使う間にこのようにすればもっとよい品物が出来る、あるいは作業する人が楽になるとの声が出てきて、その声を企業さんから聞き作業現場の声を再度聴きながら機械メーカーさんには手が届かない隙間産業的な機械を考え設計して製作しております。もちろん製作といってもできるだけベースになる機材を使い既製品でないものだけを設計し製作するような動きをしておりますので、いつも既製品と製作したものが精度よく機能するかどうか気になる毎日を過ごしておりますので、今後とも隙間産業的な企業ですがよろしくお願いします。